2024年3月期第3四半期

決算説明資料

株式会社翻訳センター［証券コード：2483］

2024年2月

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

Table of Contents

■ 会社概要

■ 連結決算概要

■ 成長戦略

■ Appendix

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

Section 1

■会社概要

■連結決算概要

■成長戦略

■Appendix

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

会社概要

企業理念

産業技術翻訳を通して、国内･外資企業の国際活動をサポートし、
国際的な経済･文化交流に貢献する企業を目指す

経営ビジョン

すべての企業を世界につなぐ言葉のコンシェルジュ

人と人とのコミュニケーションになくてはならないのが「言葉」です。
国や言語が違っても「言葉」は世界の人々が理解し合うための重要なツールです。
翻訳センターは、「言葉」でお客様を世界につなぎます。

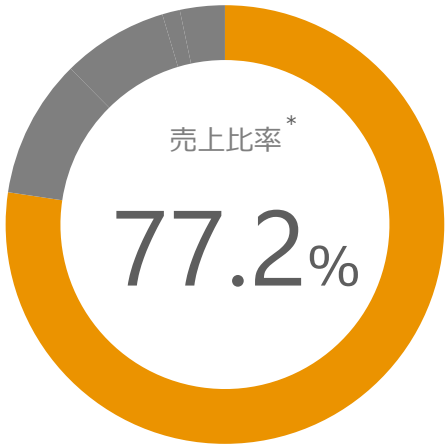
会　社　名	株式会社 翻訳センター
本社所在地	大阪本社：大阪府大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号 東京本社：東京都港区三田3丁目13番12号
代　表　者	二宮 俊一郎
設　　立	1986年4月
資　本　金	5億8,844万円（2022年3月末現在）
従 業 員 数	520人（2023年3月末現在）*連結
事　業　所	【国内】大阪、東京、名古屋 【海外】カリフォルニア
関 係 会 社	HC Language Solutions, Inc. 株式会社FIPAS 株式会社アイ・エス・エス 株式会社パナシア 株式会社メディア総合研究所 株式会社福山産業翻訳センター ランゲージワン株式会社（持分法適用会社）
事 業 内 容	翻訳事業、通訳事業、派遣事業、 コンベンション事業、通訳者・翻訳者養成、 外国特許出願支援、メディカルライティング 多言語コールセンター

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

事業概要

お客様のグローバルコミュニケーションを総合的に支援する事業を展開

翻訳事業

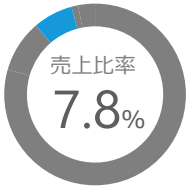


専門に特化した
技術・ビジネス文書の翻訳

派遣事業

顧客企業への
通訳者・翻訳者の派遣

通訳事業

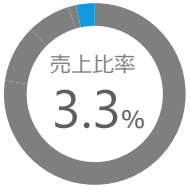


会議、商談、視察等の
ビジネス通訳

コンベンション事業

国際会議、学会等の
企画・運営

その他



外国への特許出願支援、
通訳者・翻訳者の養成等

*2023年3月期実績（翻訳事業以外も同様）

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

当社グループの特長

顧客ポートフォリオ

テクノロジーの活用

外国語の総合サプライヤー

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

顧客ポートフォリオ

幅広い業界・業種、多種多様な顧客のグローバルコミュニケーション需要に対応

顧客数[*1] 3,600社

年間受注件数[*1] 49,000件

医薬品・医療

- 医薬品
- CRO
- 医療機器
- 大学、病院

［取引実績］[*2]
世界売上高
100億ドル超
26社の96%

特許

- 特許事務所
- 企業知財部
- 特許調査会社

［取引実績］[*3]
出願件数上位
100事務所の
約70%

製造業

- 自動車
- 機械
- 電機、電子
- エネルギー

非製造業

- 情報、通信
- サービス
- インフラ

金融・保険・法律

- 証券、銀行
- 損保、生保
- 法律事務所

官公庁・公社

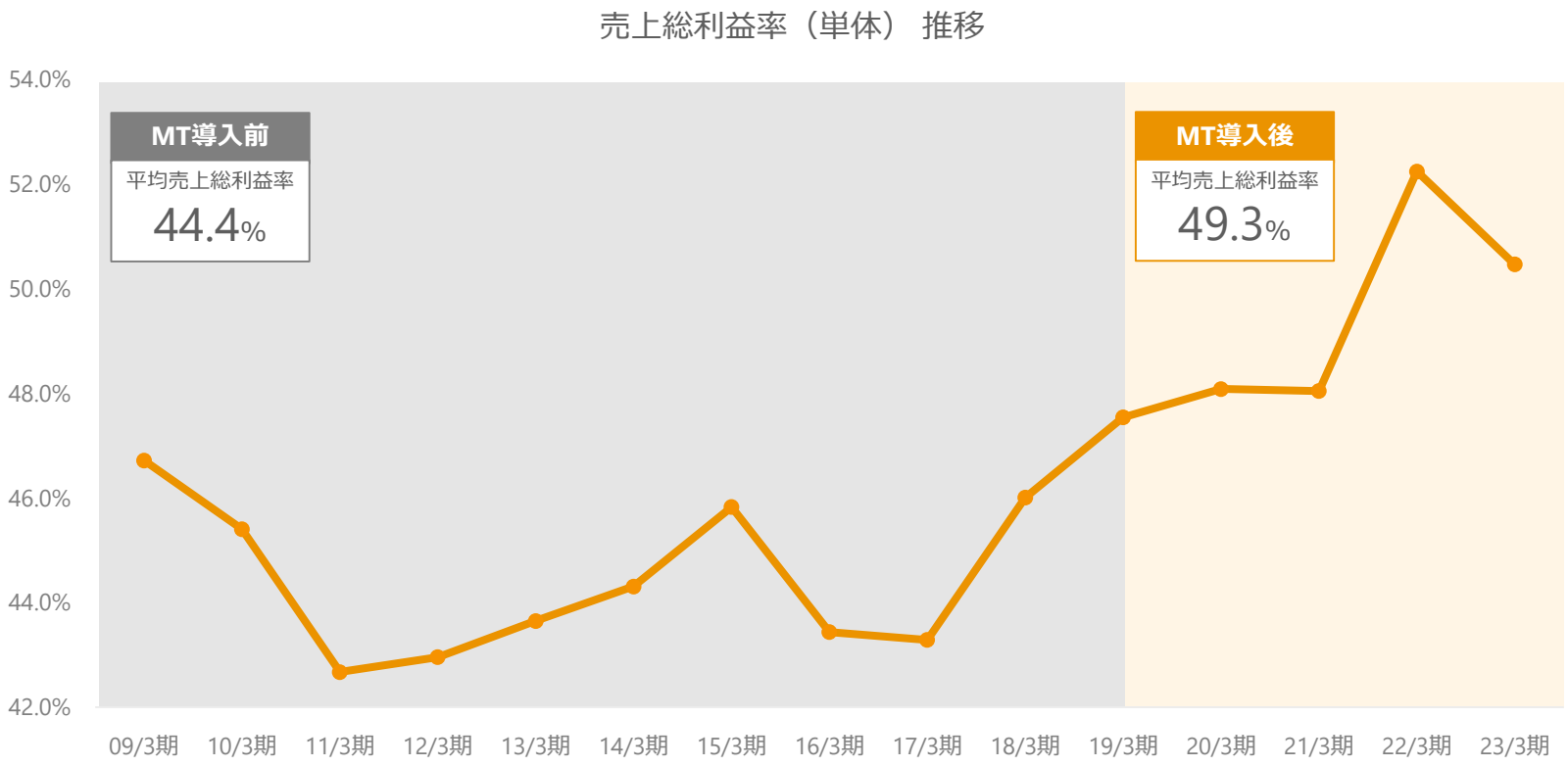
- 官公庁
- 独立行政法人
- 公益法人

*1 2023年3月31日時点
*2 2022年12月期（一部の日本企業は2023年3月期、豪CSLは2022年6月期）の世界売上高が100億ドルを超える企業26社をランキングして算出
*3 知財ラボ 「2022年特許事務所ランキング（https://jp-ip.com/ranking-list/index/2/1）」をもとに算出

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

テクノロジーの積極活用

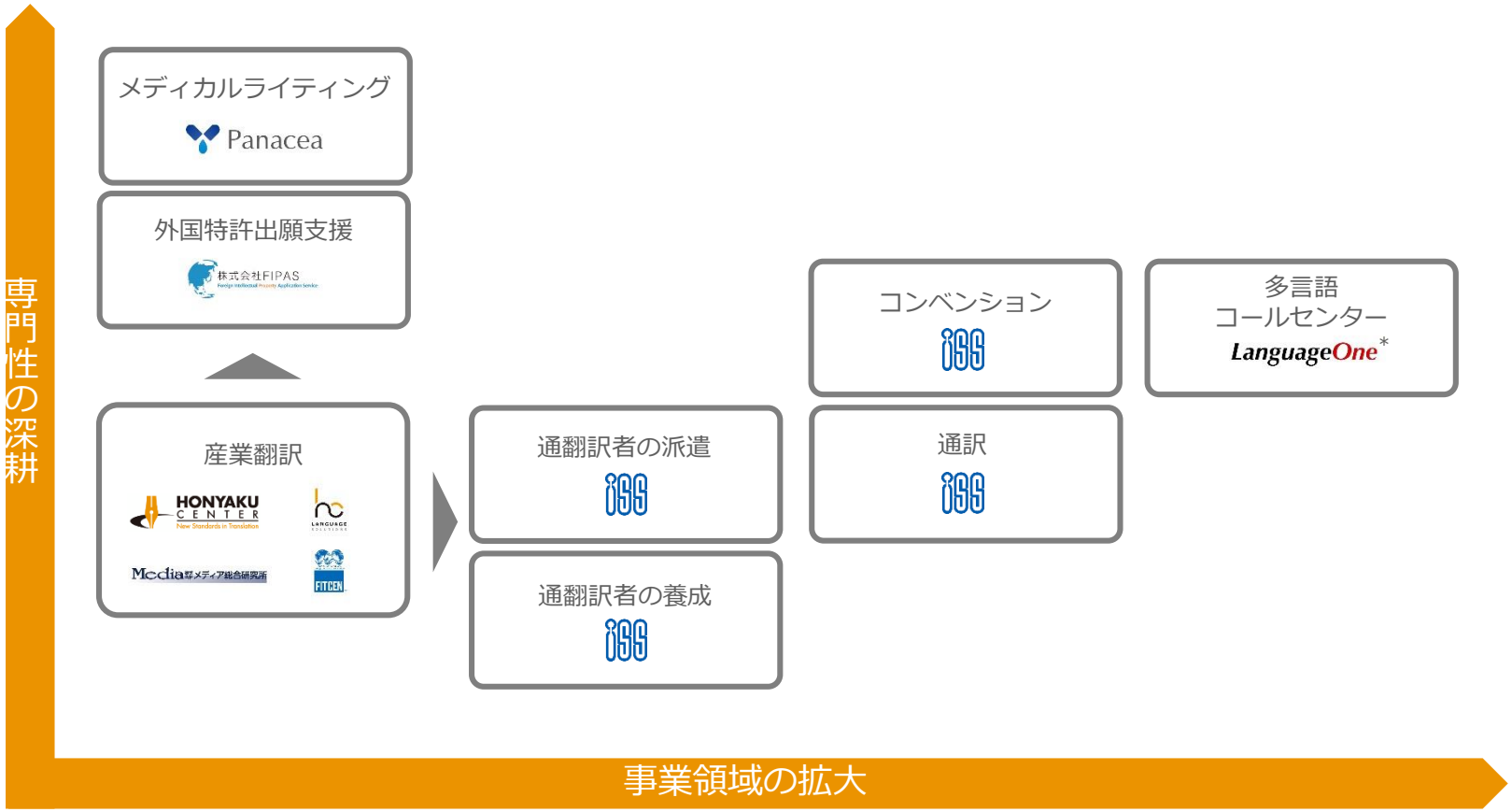
当社は機械翻訳（MT）の有効性に着目し、業界内でいち早くMTの活用戦略を開始。
翻訳制作フローにMTを導入して効率化を推進、売上総利益率（単体）の向上を実現。



Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

外国語サービスの総合サプライヤー

1986年の設立以来、産業翻訳を軸に成長し、翻訳周辺ビジネスにも参入。現在では外国語のトータルソリューションが提供可能なグループに成長。



*持分法適用会社

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

Section 2

- 会社概要
- 連結決算概要
- 成長戦略
- Appendix

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

2024年3月期3Q業績ハイライト

売上高	営業利益
8,323百万円	578百万円
前年同期比＋3.2%	前年同期比△6.9%

経常利益	四半期純利益
597百万円	400百万円
前年同期比△4.7%	前年同期比△4.2%

POINT.1 翻訳事業は特許分野が引き続き好調に推移するも、医薬分野の減収が影響し、売上高微減

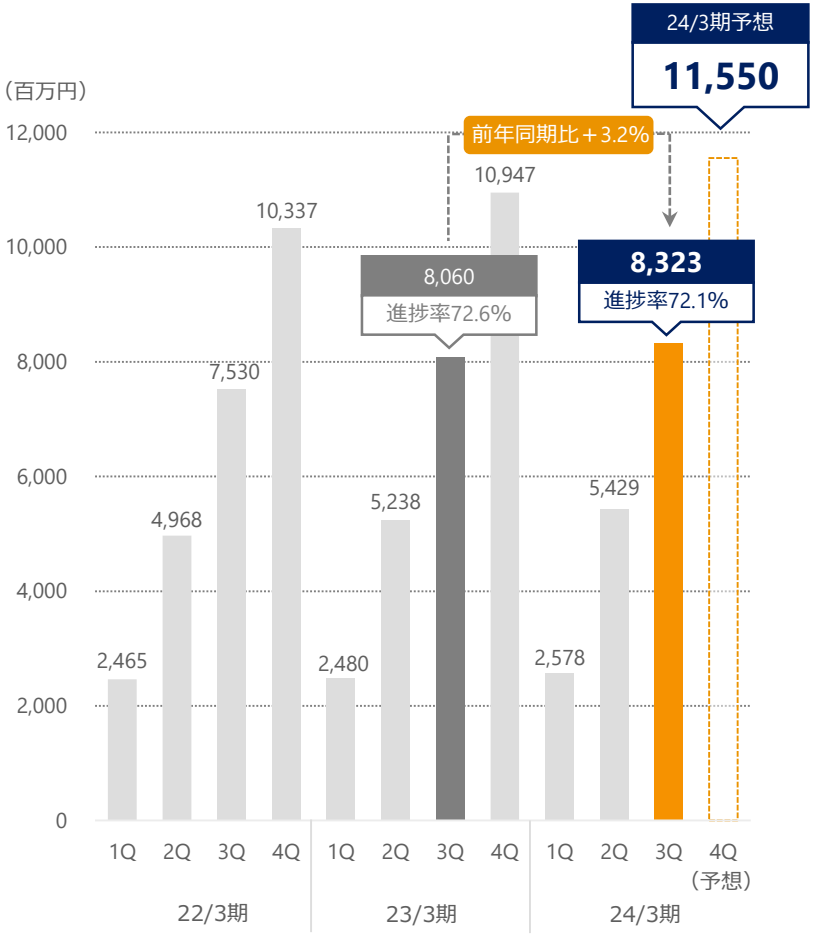
POINT.2 派遣、通訳、コンベンションの各事業が連結売上高を下支え

POINT.3 販売費及び一般管理費が増加し、各段階利益は減益

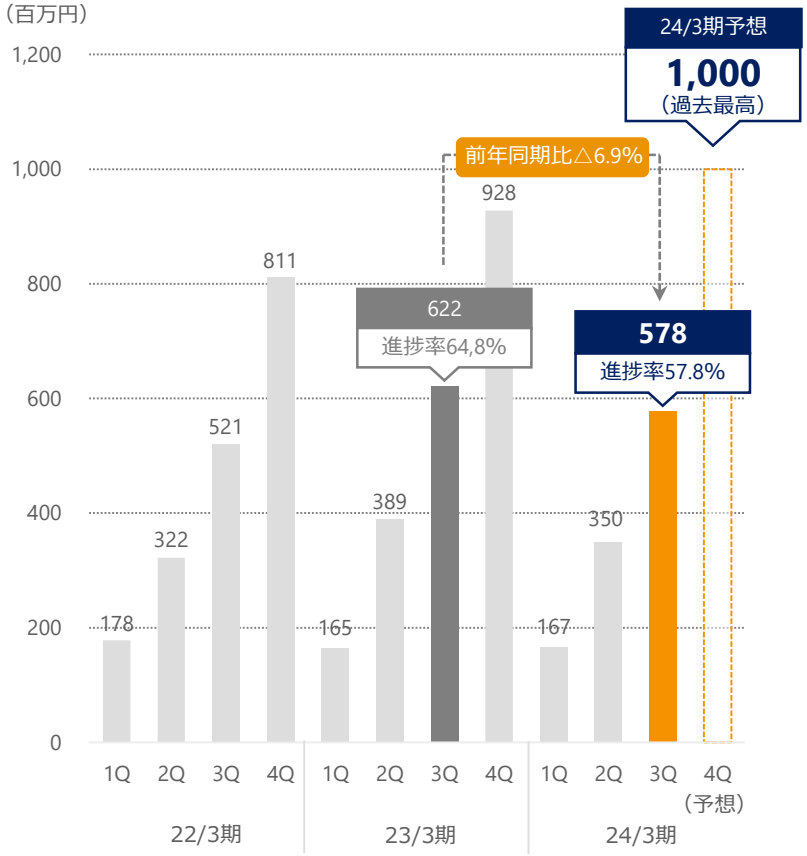
Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

2024年3月期3Q業績サマリー

売上高	8,323百万円



営業利益	578百万円



Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

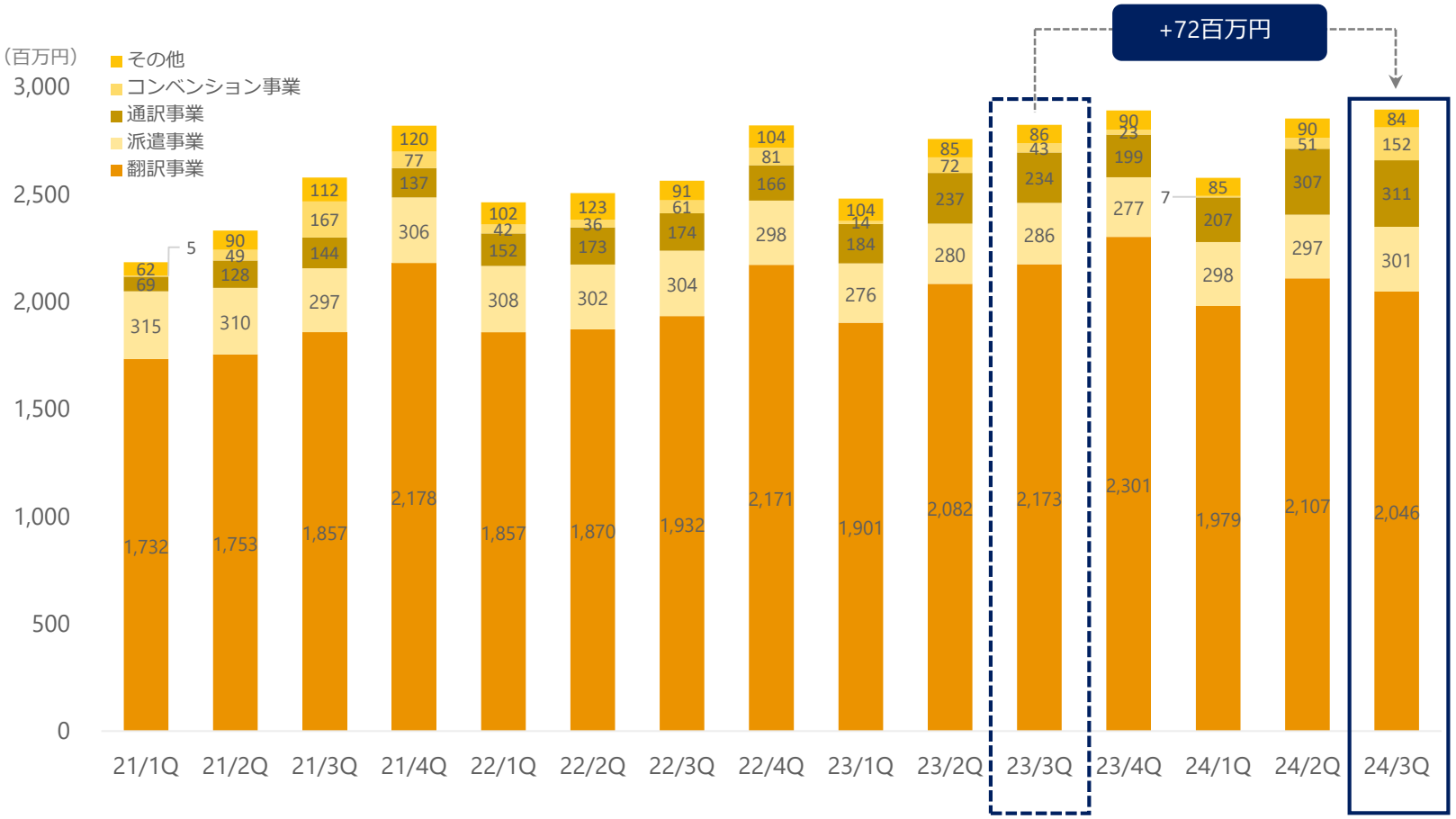
2024年3月期3Q業績

（百万円）

	23/3期 3Q実績	**24/3期 3Q実績**	増減	前年同期比
売上高	8,060	8,323	263	3.2%
翻訳事業	6,156	6,132	△24	△0.3%
特許	2,023	2,159	136	6.7%
医薬	2,041	1,870	△171	△8.3%
工業・ローカライゼーション	1,664	1,652	△12	△0.7%
金融・法務	426	449	23	5.4%
派遣事業	842	896	54	6.3%
通訳事業	655	825	170	25.9%
コンベンション事業	129	210	81	61.8%
その他	275	258	△17	△6.2%
売上原価	4,313	4,442	128	2.9%
売上総利益	3,747	3,880	133	3.5%
売上総利益率	46.4%	46.6%	0.2pt	ー
販売管理費	3,125	3,302	178	5.7%
営業利益	622	578	△43	△6.9%
経常利益	627	597	△29	△4.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	417	400	△17	△4.2%

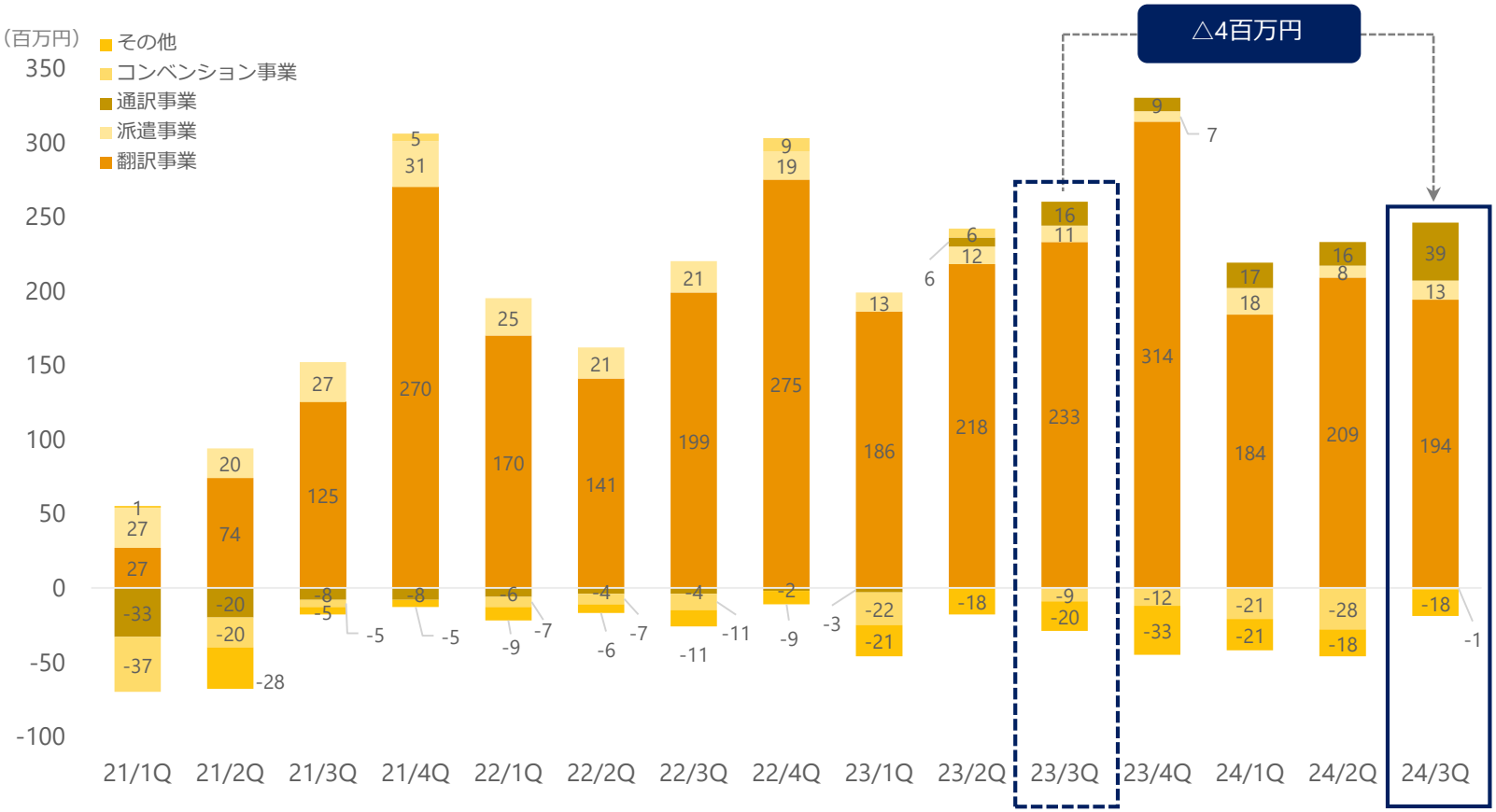
Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

事業別売上高　四半期推移（会計期間）



Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

事業別利益　四半期推移（会計期間）



Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

2024年3月期予想

（百万円）

	23/3期 実績	24/3期 予想	増減	前年同期比
売上高	10,947	11,550	602	5.5%
翻訳事業	8,457	8,815	357	4.2%
特許	2,708	2,800	91	3.4%
医薬	2,796	3,020	223	8.0%
工業・ローカライゼーション	2,376	2,395	24	0.8%
金融・金融	575	600	18	4.2%
派遣事業	1,119	1,150	30	2.7%
通訳事業	854	900	45	5.4%
コンベンション事業	152	300	147	97.2%
その他	365	385	19	5.4%
売上原価	5,860	6,090	229	3.9%
売上総利益	5,087	5,460	372	7.3%
売上総利益率	46.4%	47.3%	0.9pt	ー
販売管理費	4,159	4,460	300	7.2%
営業利益	928	1,000	71	7.6%
経常利益	960	1,020	59	6.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	686	700	13	1.9%

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

Section
3

- 会社概要
- 連結決算概要
- 成長戦略
- Appendix

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

国内翻訳・通訳の市場規模

国内の翻訳・通訳市場はコロナ影響を受けたもののコロナ禍前の水準にまで回復。
また寡占とは程遠い市場であり、当社の市場シェア拡大余地は十分にある。

国内の翻訳・通訳市場（2023年度予想）*1

3,080億

コロナ禍前の2019年度は2,970億。2020年度には2,540億と大幅減少するも徐々に回復し、2022年度は2,930億。2023年度はコロナ禍前を上回る過去最高の水準を予想。

当社シェア*2

3.7%

日本には約2,000社（推定）の翻訳会社が存在すると言われている一方、年商10億超の翻訳会社は当社を含めて9社（*3）しかなく、小規模事業者の多い業界とされている。

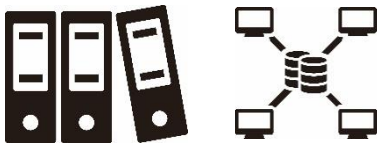
*1「語学ビジネス徹底調査レポート」（矢野経済研究所）
*2 当社2023年3月期連結売上高（109億4,700万）を2022年度の翻訳・通訳市場規模（2,930億）で除して算出
*3 一般社団法人日本翻訳連盟「2022年度翻訳通訳白書-第7回翻訳・通訳業界調査報告書」P7より当社にて算出

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

第５次中期経営計画　基本方針

ビジネス環境の変化やデジタル化の進展に対応しつつ、
業界・ドキュメント別に最適化された言語資産の活用モデルを確立し、
対象市場でのプレゼンスを高め、持続的な成長を実現する。

重点施策



ドキュメント集約メカニズムの構築

重点施策

ドキュメント別言語資産活用モデルの確立

重点施策

働き方改革や事業変革を支える経営基盤の整備

2025年3月期 数値目標	売上高	営業利益	当期純利益	営業利益率	ROE
	121億円	11億円	7.5億円	9.0%	12.0%

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

ドキュメント集約メカニズムの構築

創薬・育薬プロセスで発生するドキュメントの特徴に合わせた翻訳サービスを提供。
顧客を囲い込み、ドキュメントが集約する仕組みを構築。

ドキュメント集約メカニズムの事例（医薬分野）

創薬（研究開発、承認・審査）				育薬 （再審査・再評価）
基礎研究 ▶	非臨床試験 ▶	臨床試験 ▶	承認申請 ▶	製造、販売 市販後調査
主なドキュメント ・試験計画書 ・試験報告書 ・製造指図書 ・バリデーション資料		・治験薬概要書 ・治験実施計画書 ・治験総括報告書	CTD（コモン・テクニカル・ドキュメント）	・添付文書 ・CIOMS ・症例報告 ・PSUR
基礎研究から市販後調査まで、各ステージで発生する、あらゆるドキュメントの翻訳に対応				
ドキュメント間の相互の関連性に配慮した品質管理体制の構築				

NEXT

医薬品開発資料や特許明細書に続く、次の収益の柱を育成する。当社の強みが活きるターゲット市場をドキュメント単位で設定し、ドキュメント種類に合わせたサービス改善と効果的なマーケティング活動を行なっていく。

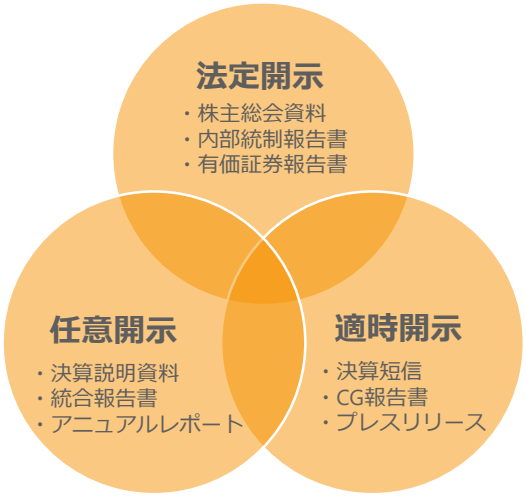
Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

ドキュメント集約メカニズムの構築

株主総会資料や決算短信を中心にIR関連ドキュメントの受注件数は年々拡大。東証の市場再編に伴う英文開示ニーズを取り込み、さらなる受注拡大を狙う。

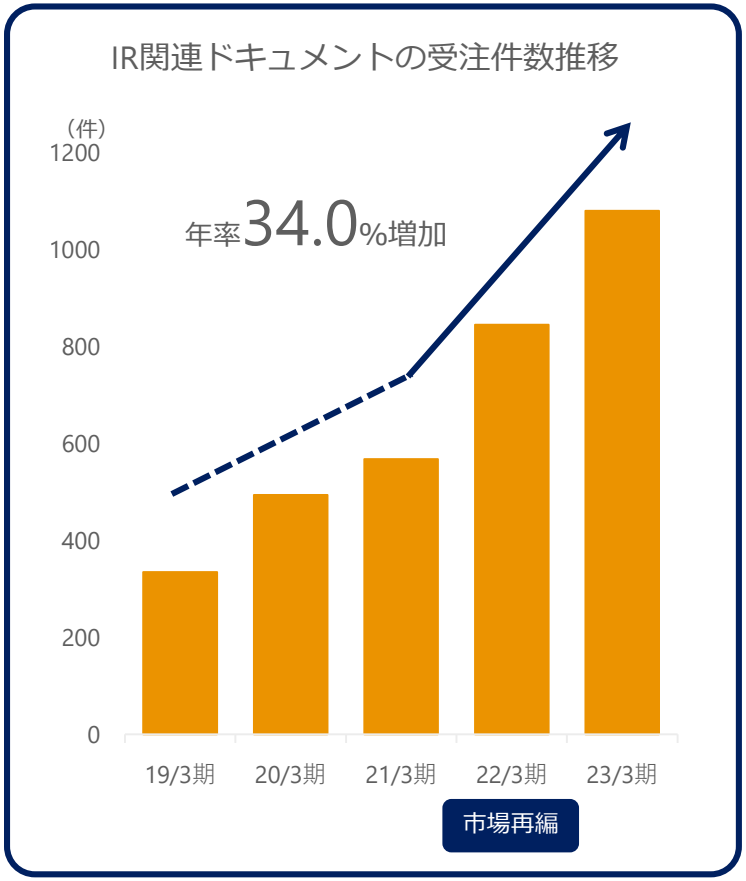
英文開示の高速サービスで市場のニーズに対応

プロネクサスとの協業による販路拡大



開示書類に関する
知見・情報
PRONEXUS

翻訳に関する
ナレッジ・技術
HONYAKU CENTER

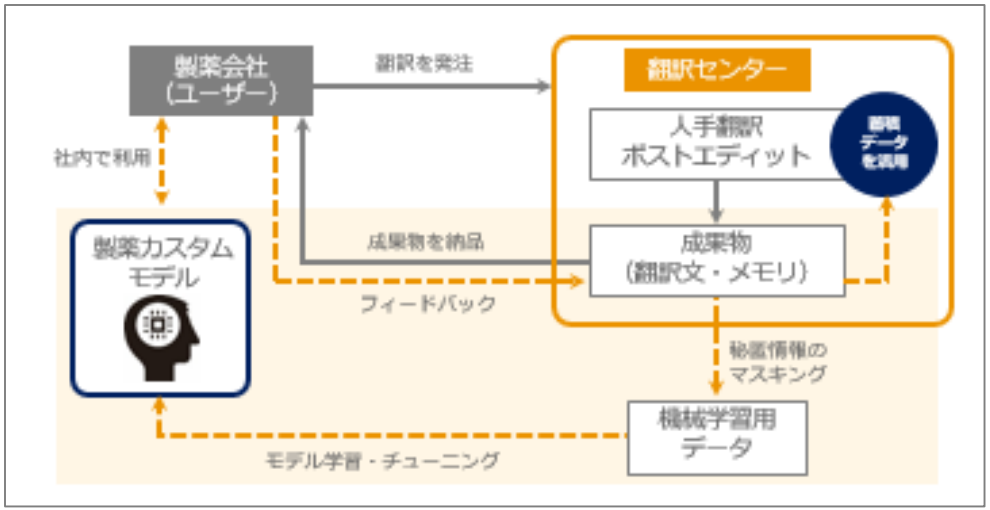


Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

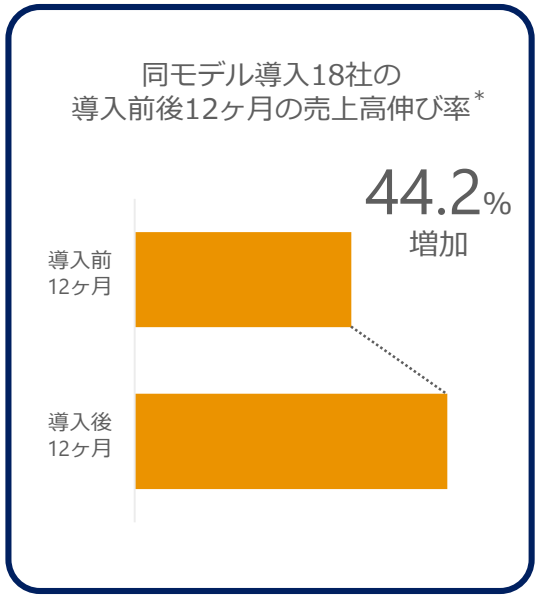
ドキュメント別言語資産活用モデルの確立

特定ドキュメントに特化した機械翻訳を開発・提供。当社に発注を集約することで
モデルの継続的な精度向上に繋がる仕組みを構築し、導入企業内シェアを拡大。

ドキュメント別言語資産活用モデルの事例（製薬カスタムモデル）



［製薬カスタムモデル 概念図］



NEXT 製薬カスタムモデルのコンセプトを他分野で横展開する。

*製薬カスタモデルへのコーパス（機械学習用データ）拠出企業は26社、うちモデル導入は18社（2023年7月末時点）

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

取り組み事例

オルツと連携し、生成AIを活用した共同プロダクト開発のための実証実験を開始。[*1]

言語処理技術・
大規模言語モデル構築の
ノウハウ

保有する
顧客基盤・言語資産

POINT

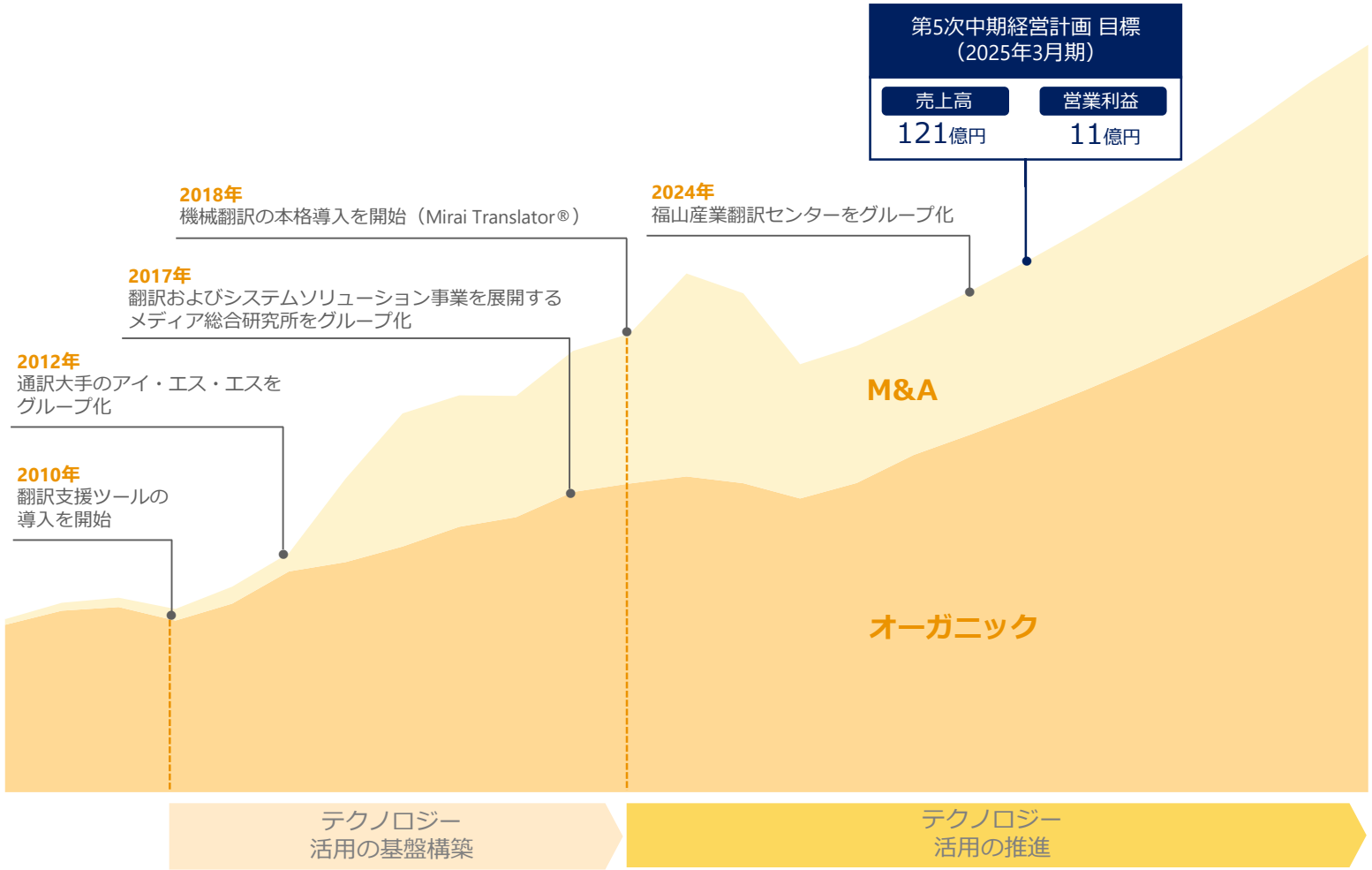
オルツの「LHMT-2」やChat GPTに代表される大規模言語モデルを当社ドキュメントで活用した場合の問題点や課題を検証し、効果的な活用場面や活用方法を明らかにすることで、新たなサービスの開発に繋げる。

* 2023年5月11日発表の共同プレスリリース（PR情報）より

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

成長イメージ

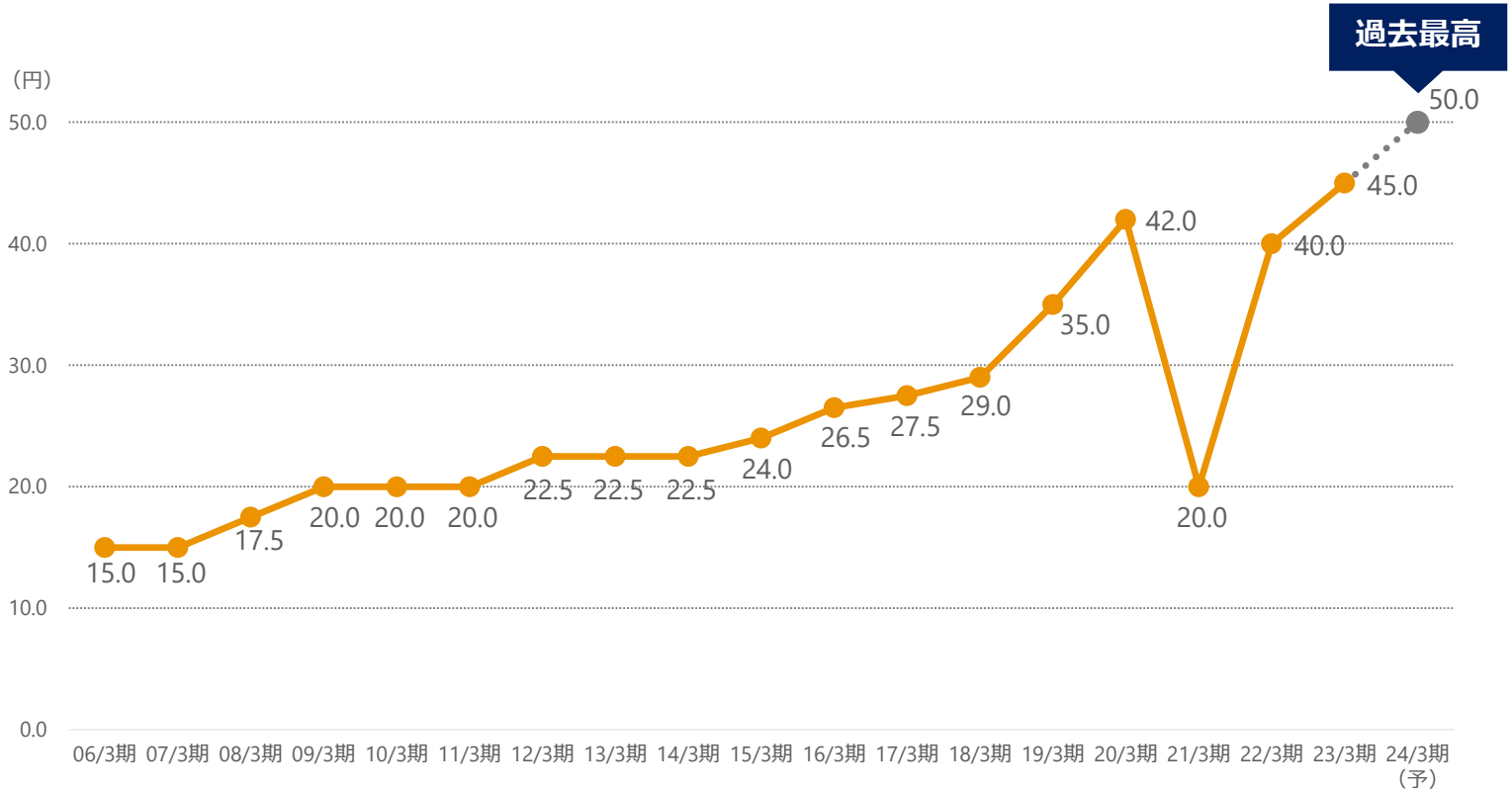
社会の変容を的確に捉えた需要やサービスの可能性を追求し、さらなる成長を図る。



Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

株主還元

利益成長に応じた安定的かつ継続的な配当を志向。過去最高益の予想に連動し、24/3期の配当も過去最高額の50円/株を予想。



配当性向	15.1%	18.1%	21.5%	33.4%	49.5%	44.9%	33.2%	34.4%	42.3%	28.5%	20.7%	20.8%	17.2%	18.6%	45.7%	56.5%	23.2%	21.8%	23.8%

*2013年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を、また2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施しております。
上記グラフでは当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たりの指標の推移を記載しています。

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

Section
4

- 会社概要
- 連結決算概要
- 成長戦略
- Appendix

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

沿革

1986年
医薬専門の翻訳会社として設立

1988年
工業分野の翻訳サービスを開始

1997年
特許分野の翻訳サービスを開始

1998年
金融・法務分野の翻訳サービスを開始

2006年
株式上場（当時、業界初）

アメリカでの翻訳・通訳サービスを開始

2010年
FIPAS設立（外国特許出願支援）

2012年
アイ・エス・エスをグループ化

通訳、派遣、コンベンション、通訳者・翻訳者養成の各サービスを開始

2014年
パナシア設立（メディカルライティング）

2015年
ランゲージワン設立（多言語コールセンター）

2017年
みらい翻訳に出資

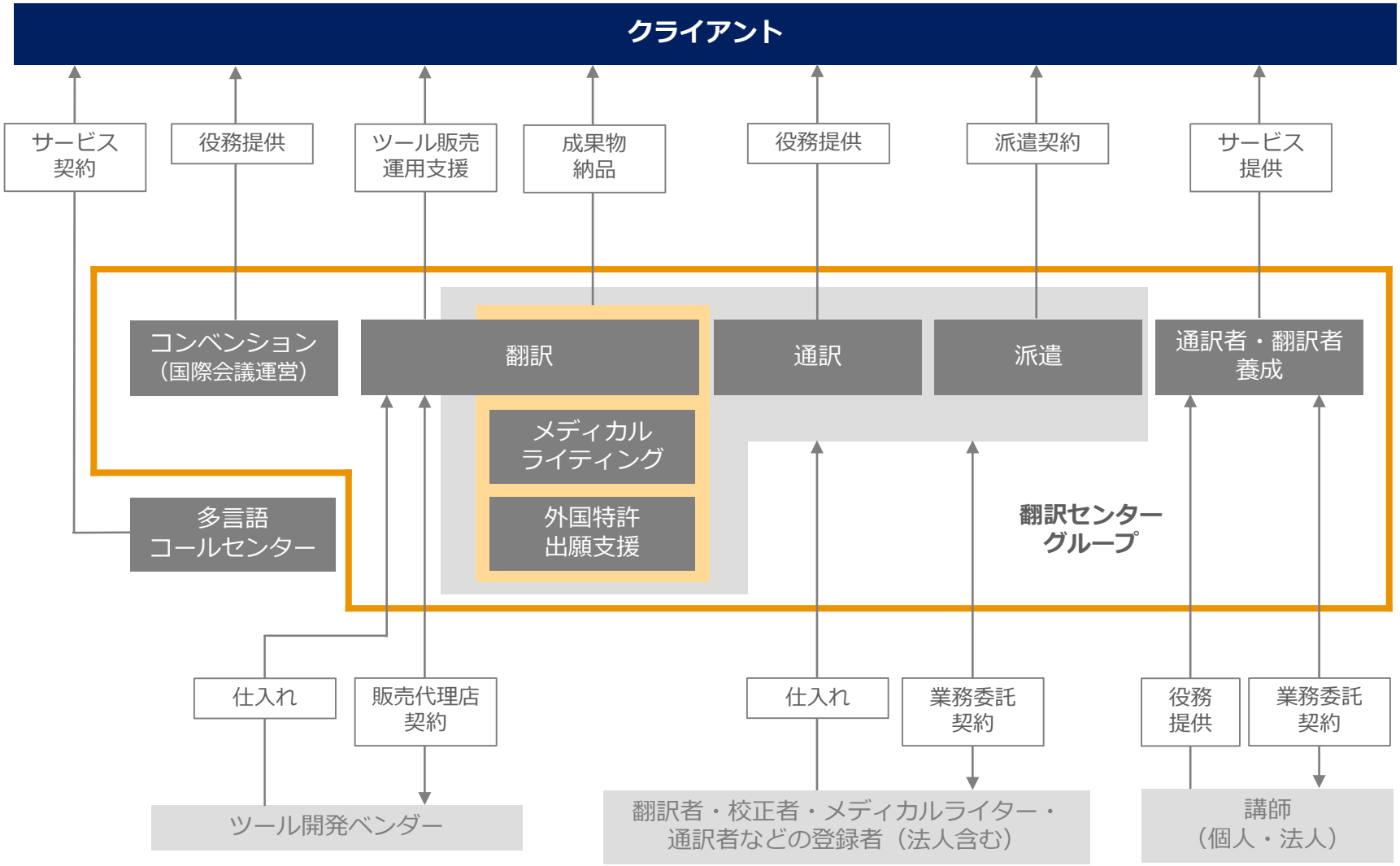
メディア総合研究所をグループ化

2018年
機械翻訳の導入開始

2024年
福山産業翻訳センターをグループ化

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

事業系統図



Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

業績推移

（百万円）

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
売上高	10,618	12,008	11,550	9,910	10,337	10,947
経常利益	812	905	822	465	841	960
親会社株主に帰属する当期純利益	566	630	304	117	573	686
資本金	588	588	588	588	588	588
発行済株式総数（株）*1	1,684,500	3,369,000	3,369,000	3,369,000	3,369,000	3,369,000
純資産額	3,939	4,350	4,545	4,524	5,090	5,672
総資産額	5,741	6,486	6,222	6,295	7,172	7,486
自己資本比率（%）	68.6	67.0	73.0	71.8	70.9	75.7
売上高経常利益率（%）	7.5	7.4	7.0	4.7	8.1	8.7
連結従業員数（人）	518	507	522	509	520	521
登録者数（人）*2	4,221	2,889	3,030	3,249	2,681	2,815

*1 2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施
*2 翻訳センター単体登録者数、19/3期より算出方法を一部変更

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

連結財務諸表　推移

（百万円）

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
売上高	10,618	12,008	11,550	9,910	10,337	10,947
翻訳事業	7,593	8,506	8,112	7,520	7,828	8,457
特許	1,880	2,139	2,258	2,100	2,316	2,708
医薬	2,744	2,897	2,749	2,875	2,904	2,796
工業・ローカライゼーション	2,239	2,725	2,472	2,038	2,028	2,376
金融・法務	729	744	632	505	580	575
派遣事業	1,127	1,192	1,200	1,228	1,212	1,119
通訳事業	933	1,039	1,022	477	655	854
コンベンション事業	496	677	782	298	220	152
その他	466	592	432	385	420	365
売上原価	6,112	6,999	6,625	5,536	5,429	5,860
売上総利益	4,506	5,009	4,925	4,373	4,907	5,087
売上総利益率	42.4%	41.7%	42.6%	44.1%	47.4%	46.4%
販売管理費	3,704	4,108	4,111	3,955	4,096	4,159
営業利益	802	900	813	418	811	928
経常利益	812	905	822	465	841	960
親会社株主に帰属する当期純利益	566	630	304	117	573	686

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

連結貸借対照表　推移

（百万円）

		2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
資産の部							
	流動資産	4,668	5,220	5,213	5,515	6,311	6,611
	固定資産	1,072	1,265	1,009	780	861	875
	資産合計	5,741	6,486	6,222	6,295	7,172	7,486
負債の部							
	流動負債	1,718	1,974	1,503	1,595	1,891	1,618
	固定負債	83	161	173	175	190	195
	負債合計	1,801	2,135	1,676	1,770	2,081	1,813
純資産の部							
	株主資本	3,923	4,332	4,531	4,514	5,068	5,630
	その他の包括利益累計額	15	17	13	10	22	42
	純資産合計	3,939	4,350	4,545	4,524	5,090	5,672
負債純資産合計		5,741	6,486	6,222	6,295	7,172	7,486

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

本資料には、当社に関する業績や見通し、将来に関する計画、経営目標などに関する情報が含まれています。
これらは資料作成時点での想定に基づくものであり、これら情報が正確である保証はありません。
また開示規則により求められる場合を除き、本資料に記載の情報は予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ先
株式会社翻訳センター　経営企画室

E-mail
ir@honyakuctr.co.jp

IRサイト
https://www.honyakuctr.com/ir/

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.